

公共事業再評価調書

整理番号 H15 - 46

担当部課室名	県土整備部 建築住宅課	電話番号	017 - 734 - 9693
		E-MAIL	kenju@ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (年)	再評価後 (5 年)	その他 ()
---------	-----	-----------	-------------	---------

1 事業概要

事業種別	公園事業	事業主体	県 市町村 其他 ()					
事業名	住宅宅地関連公共施設等総合整備事業	地区名等	八戸新都市 (白山台公園) 市町村名 八戸市					
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国50% 県 % 市町村50% 其他 %					
採択年度	S63年度 (用地着手 S63年度 / 工事着手 H7年度)							
終了予定年度	H17年度 (H15年 4月計画変更 当初計画時 16年度)							
事業目的	(1)八戸ニュータウンのシンボリックな公園で、八戸の「新名所」として永く後世に伝える公園として整備する。 (2)"新しいふるさと"を代表する公園として市民に愛され、「日常的な憩いの場」づくりを実現させるために整備する。 (3)防災公園の中で広域避難地の機能を有する都市公園として整備する。							
主な内容	A = 16.7ha 園路広場工 (北入り口広場・中央広場・階段テラス), 修景施設工 (植栽 = 芝生広場・お花見広場), 休養施設工 (ベンチ・四阿), 管理施設工 (北駐車場 (155台)・トイレ)							
事業費	再評価時総事業費 2,386 百万円 (単位:百万円)							
		~12年度	13年度	14年度	15年度	小計	16年度~	合計
	計画 (うち用地費) 15年4月変更	1,440 (1,046)	36 (0)	120 (0)	20 (0)	1,616 (1,046)	114 (0)	1,730 (1,046)
	実績 (うち用地費)	1,440 (1,046)	36 (0)	120 (0)	20 (0)	1,616 (1,046)	114 ()	1,730 (1,046)

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A)・B・C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			93.4% [/]	100% [/]
			(100%) [/]	(100%) [/]
	主要工種毎割合 (事業費)	園路広場工 (188.2百万円)	89.4%	100.0%
	修景施設工 (147.7百万円)	50.1%	100.0%	
	管理施設工 (127.6百万円)	93.8%	100.0%	
説明	公園用地の買収は昭和63年度から平成8年度までの9ヶ年で行い、平成7年度からは施設整備を進めて平成11年度には一部 (A = 1.8ha) 開園している。事業は平成14年度に見直しを行い、事業量 (A = 16.7ha 5.1ha) を縮小している。			
問題点・解決見込み	-			
事業効果発現状況	・一部を供用開始している公園内では、北駐車場を利用して昼食時の休憩時間を取ったり、芝生広場ではパ・クゴルフやソフトボールを楽しんだりして、住民の憩いの場として利用されている。 ・白山台公園が完成すれば良好な住環境が整うことにより、八戸新都市土地区画整理事業 (計画人口15,000人、平成14年11月末現在5,182人 (34.5%)) で行っている宅地分譲に大きく貢献する。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	[全国の評価] 地球温暖化・都市のヒートアイランド等市街地における緑化空間の創出が求められている。	[県内の評価] 青森県広域緑地計画では、目標水準が2008年16㎡、2018年20㎡となっている。
	当地区における評価	・平成13年度末の当市の1人当たり公園面積は8.50㎡であり、県平均12.69㎡より低い数値となっている。 ・うるおいのある良好な住宅の供給、産業・文化などの高次の都市機能の集積及び広域的な健康福祉機能を担う中核施設の整備により、新しいライフスタイルを提供する本地域の住まい方のモデルとなる生活実験都市が形成される。	
必要性	八戸市の都市計画区域内の住民一人当たり都市公園敷地面積は、平成15年4月1日現在で8.96㎡である。 白山台公園は広域避難地として位置づけられている。(公園緑地マニュアル平成14年版)		(a)・b
適時性	・関連事業 八戸新都市土地区画整理事業、街路事業 (都市計画道路3・4・21面木線 (1・2工区)), 都市計画道路3・4・22面木根城線, 都市計画道路3・3・10沢里根城線, 公共下水道事業 (東調整池・中部第15幹線 (管渠)・根城都市下水道), 都市公園整備事業 (長者森公園, とくらほ緑地) ・第七次都市公園等整備5ヶ年計画に明示され、計画的な整備が位置付けられている。		(a)・b
地元の推進体制等	・八戸ニュータウンでは、連合町内会が組織されて既に供用している街区公園における維持管理を行っており、推進体制の一部を担う活動体制が整っている。 ・八戸ニュータウン内のまちづくり協議会から、公園整備を推進して欲しいとの要望がある。		(a)・b
効率性	-		

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	再評価時	再々評価時	増 減
費用項目 (C)	(1) 促進計測上の費用	1,619 百万円	1,451 百万円	168 百万円
	(2)	百万円	百万円	0 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	1,619 百万円	1,451 百万円	168 百万円
便益項目 (B)	(1) 原価低減効果	75 百万円	76 百万円	1 百万円
	(2) 住宅・宅地の供給促進効果	12,828 百万円	13,063 百万円	235 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	12,903 百万円	13,139 百万円	236 百万円
B / C		7.97	9.06	

【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等)
 住宅宅地関連公共施設等総合整備事業における費用対効果分析マニュアル
 【費用対効果分析における特記事項】
 計画時 (H10.再評価時) , 再評価時 (H15再評価時)

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・ 既存の樹木を積極的に利用する。 ・ 植栽工では高中低木の高さ・太さを景観に支障ない範囲で軽減し、地被類のうち単価の高いものは取りやめてノシバに変更している。	(a) ・ b
代替案	【代替案の検討状況】 既に事業を円滑に進めるため施設整備の大幅な見直しを行っている。当初16.7haの計画であったが、変更後の5.1haの整備でも地区公園の機能を果たせること、残りの未整備となる区域については大部分が既存樹に覆われた丘陵地であり、貴重な緑として保全を図りながら、利用状況、財政状況等を勘案し、第2期工事での整備を検討することとしている。	(a) ・ b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 要望	【住民ニーズ・意見】 八戸ニュー・タウン内のまちづくり協議会から、公園整備を推進して欲しいとの要望がある。	(a) ・ b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1) 地域区分 H5b (2) 対応状況 配慮している 配慮していない	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 配慮している 配慮していない	(a) ・ b
地域の立地特性	【特記事項】 八戸ニュー・タウンでは、将来ともよりよい生活環境を維持し発展させる街づくりのために緑化協定が定められている。 白山台公園のある八戸ニュー・タウン・センター地区(約104ha)は、八戸地方拠点都市アクションプログラムにおいて、うるおいのある総合的な居住環境を整備する拠点地区として位置付けられている。八戸新都市では、良好な居住環境の確保のために地区計画が定められており、住宅地には緑豊かなゆとりと潤いのある環境形成に向けて建築物等の形態や壁面の位置、敷地の最低面積等の制限を行っている。白山台公園は、それらの支援事業として寄与するものである。		

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	(1)良好な居住環境の形成や景観形成上から重要な都市施設、(2)広域避難地としての機能が必要であり、早期実現を図るため継続としたい。			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見				
評価理由				